

引用・参考文献

- 浅田博造2004「円筒埴輪の製作技法」『味美二子山古墳』春日市教育委員会
- 赤塚次郎1991「尾張型埴輪について」『池下古墳』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第24集
- 赤塚次郎1997「須恵器系埴輪の拡散」『古文化論叢』伊達先生古稀記念論集
- 天野末喜・松村隆文1992「近畿」『古墳時代の研究』第9巻 雄山閣
- 石田大輔2018「物部氏の奥津城－柚之内古墳群と石上・豊田古墳群」『ここまでわかった物部氏』天理市観光協会
- 石田大輔2020「布留遺跡周辺古墳群」（池田保信ほか「大和布留遺跡における歴史的景観の復元」）『研究紀要』第24集 公益財団法人 由良大和古代文化研究協会
- 石母田正1955「古墳時代の社会組織」『日本考古学講座』河出書房
- 犬木 努1995「下総型埴輪基礎考」『埴輪研究会誌』第1号
- 犬木 努1996「埴輪製作における個体内・工程別分業と種別分業」『埴輪研究会誌』第2号
- 犬木 努2005「下総型埴輪再論」『埴輪研究会誌』第9号
- 今西康宏編2013『今城塚古墳の大円筒埴輪展』高槻市立今城塚古代歴史館
- 上田 陸1997「出土埴輪からみた古市古墳群の構成」『堅田直先生古稀記念論文集』
- 大谷晃二2003「円筒埴輪基底部再調整の技法復元」『宮山古墳群の研究』鳥根県古代文化センター調査研究報告書16
- 加藤一郎2008「大山古墳の円筒埴輪」『近畿地方における大型古墳群の基礎的研究』平成17年度～19年度科学研究費補助金（基盤研究（A））研究成果報告書 六一書房
- 加藤一郎2010「出土遺物」（「百舌鳥陵墓参考地墳丘裾護岸その他整備工事に伴う事前調査」）『書陵部紀要』第61号 宮内庁書陵部
- 加藤一郎2011a「円筒埴輪について」『百舌鳥古墳群の調査5 御廟山古墳（GBY-6）発掘調査報告書』堺市教育委員会
- 加藤一郎2011b「出土遺物」（「小奈辺陵墓参考地墳塋裾護岸その他整備工事に伴う事前調査」）『書陵部紀要』第62号 宮内庁書陵部
- 加藤一郎2013「古墳時代中期の埴輪生産に関する予察」『技術と交流の考古学』同成社
- 加藤謙吉2013『ワニ氏の研究』雄山閣
- 鐘方正樹1992「石見型埴輪の検討」「大和における円筒埴輪の地域性」「菅原東遺跡埴輪窯跡群の歴史的意義」奈良市教育委員会1992所収
- 鐘方正樹1997「中 antiquity 古墳の埴輪」『史跡大安寺旧境内 I』奈良市教育委員会
- 鐘方正樹1999「2条突帯の円筒埴輪」『埴輪論叢』第1号 埴輪検討会
- 鐘方正樹2003「円筒埴輪の地域性と工人の動向」『埴輪』第52回埋蔵文化財研究集会発表要旨集
- 鐘方正樹2017「近畿地方の土師質亀甲形陶棺と埴輪」『埴輪論叢』第7号
- 鐘方正樹・中島和彦・根上直子1995「奈良市秋篠町奈良少年院出土の埴輪の研究（上）（下）」『古代文化』第47巻第5・6号
- 狩野 久1970「部民制－名代・子代を中心として－」『講座日本史』東京大学出版会
- 鎌田元一1984a「部」についての基本的考察『日本政治社会史研究』上 塙書房

- 鎌田元一1984b「王権と部民制」『講座日本歴史1』東京大学出版会
- 河内一浩1988「古墳時代後期における紀伊の埴輪生産について」『巽三郎先生古稀記念論集 求真能道』
- 河内一浩2003「古墳時代後期における円筒形埴輪の研究動向と編年」『埴輪論叢』第4号
- 河内一浩2004「紀伊型円筒形埴輪再考」『地域と古文化』同刊行会
- 河内一浩2013「和歌山県の埴輪の地域色－古墳時代後期における紀氏の埴輪生産－」『埴輪研究会誌』第17号
- 河内一浩2019「紀伊型円筒形埴輪の拡散」『和の考古学』藤田和尊さん追悼論文集
- 川西宏幸1977「淡輪の首長と埴輪生産」『大阪文化誌』第2巻第4号
- 川西宏幸1978「円筒埴輪総論」『考古学雑誌』第64巻第2号
- 木立雅朗2003「刷毛目」調整と工具の基礎的研究Ⅰ」『立命館大学考古学論集』Ⅲ
- 木村 理2017「小古墳出土埴輪からみた古市古墳群の埴輪生産」『埴輪論叢』第7号
- 木村 理2018「大和における蓋形埴輪の生産体制－古墳時代後期を中心に－」『埴輪論叢』第8号
- 車崎正彦1988「埴輪の作者」『早大所沢文化財調査室月報』No. 34
- 車崎正彦2004「埴輪生産体制論雑感」『市原市山倉古墳群』（財）市原市文化財センター
- 城倉正祥2009『埴輪生産と地域社会』学生社
- 白石太一郎1999「古墳からみた古代豪族」『考古資料と歴史学』吉川弘文館
- 白石太一郎2011「葛城の二つの大王墓－顕宗陵と武烈陵の問題－」『大阪府立近つ飛鳥博物館館報』14号
- 十河良和2003「日置荘西町窯系円筒埴輪の検討」『埴輪』第52回埋蔵文化財研究集会発表要旨集
- 関川尚功1985「大和における大型古墳の変遷」『考古学論攷』第11冊
- 高橋克壽1992「器財埴輪」『古墳時代の研究』第9巻 雄山閣
- 高橋克壽1994「埴輪生産の展開」『考古学研究』第41巻第2号
- 高橋克壽1995「山津照神社古墳の埴輪と6世紀の畿内の埴輪」『琵琶湖周辺の6世紀を探る』平成6年度科学研究費補助金一般研究B調査成果報告書 京都大学文学部考古学研究室
- 高橋克壽2007「畿内の埴輪生産からみた渡来系集団の存在形態」『金工技術から見た倭王権と古代東アジア』平成16～18年度科学研究費補助金（基盤研究（C））成果報告
- 高橋克壽2012「埴輪」『講座 日本の考古学 古墳時代』（下）青木書店
- 田中智子2005「総持寺古墳群をめぐる埴輪生産と供給」『総持寺遺跡』大阪府教育委員会
- 田中智子2013「古墳時代後期の埴輪生産・供給体制の実像をめぐって」『立命館大学考古学論集』Ⅵ
- 塚口義信1995「香芝－古代史の謎を探る①みんなで考えよう郷土の歴史を」『香芝遊学』4号 香芝市役所
- 塚口義信1998「天皇陵の伝承と大王墓と土師氏」『網干善教先生古稀記念考古学論集』下 同論文集刊行会
- 塚口義信2020「《新展開》顕宗・武烈天皇の奥津城をめぐって」『古代史論聚』岩田書院
- 辻川哲朗1998「円筒埴輪突帯間隔設定技法の復元－埴輪受容形態検討の基礎作業として－」『埴輪論叢』第1号 埴輪検討会
- 辻川哲朗2003「突帯－突帯間隔設定技法を中心として－」『埴輪』第52回埋蔵文化財研究集会発表要旨集
- 辻川哲朗2007「埴輪生産からみた須恵器工人」『考古学研究』第54巻第3号
- 辻川哲朗2010a「近江・林ノ腰古墳の再検討」『同志社大学考古学研究会50周年記念論集』同論集編集委員会
- 辻川哲朗2010b「市尾墓山古墳出土埴輪の再検討」『同志社大学考古学シリーズX 考古学は何を語るのか』同志社大学

考古学シリーズ刊行会

辻川哲朗2012「継体朝期の近江の古墳」『湖をみつめた王－継体大王と琵琶湖－』平成24年春季特別展 滋賀県立安土城考古博物館

辻川哲朗2016「古代における土器製作技術の一側面」『紀要』第29号 公益財団法人滋賀県文化財保護協会

内藤元太2018「大和南部地域を主眼とする後期円筒埴輪の系統」『埴輪論叢』第8号

内藤元太2020「大和南部型埴輪の展開とその背景」『古代学研究』第225号

中島和彦1992「断続ナデ技法」の再評価」奈良市教育委員会1992所収

中野 咲2010「回転性を有するヨコハケを施した煮炊具－奈良盆地の事例について－」『韓式系土器研究』XI

奈良市教育委員会1992「菅原東窯をめぐる諸問題」『奈良市埋蔵文化財センター紀要1991』

坂 靖1994「奈良県の円筒埴輪」『橿原考古学研究所論集』第11

坂 靖2007「大和の円筒埴輪」『古代学研究』第180号

東影 悠2010「形象埴輪の製作技法－形象基部倒立技法の研究－」『待兼山考古学論集Ⅱ』大阪大学考古学研究室

東影 悠2018「古墳時代後期における埴輪生産と埴輪様式の特質」『ヒストリア』第271号 大阪歴史学会

東影 悠2019「大和南部における須恵器系埴輪の製作技術」『埴輪論叢』第9号

廣瀬 覚2011「西日本の円筒埴輪」『古墳時代の考古学』第1巻 同成社

廣瀬 覚2015『古代王権の形成と埴輪生産』同成社

廣瀬 覚2017「明石川流域における埴輪の展開とその背景」『播磨の埴輪』第17回播磨考古学研究会実行委員会

廣瀬 覚2019「埴輪の生産・流通からみた古墳時代の権力生成」『考古学研究』第66巻第3号

藤井幸司2003「円筒埴輪製作技術の復元的研究」『埴輪』第52回埋蔵文化財研究会発表要旨集

藤沢 敦2002「東北地方の円筒埴輪－窖窯焼成埴輪の波及と生産－」『埴輪研究会誌』第6号

藤沢 敦2003「東北地方の円筒埴輪－技法・系譜・伝播－」『埴輪』第52回埋蔵文化財研究会発表要旨集

藤藪勝則2006「古墳時代後期における円筒形埴輪の一樣相－いわゆる紀伊型（環畿内南部型）埴輪について－」『紀伊考古学研究』第9号

藤藪勝則2019「晒山10号墳（背見山古墳）出土の円筒形埴輪－紀ノ川下流域における基底部調整の事例紹介－」『埴輪論叢』第9号

堀川 徹2017「人制から部民制へ」『国造制・部民制の研究』八木書店

溝口優樹2015「人制・部制と地域社会」『日本古代の地域と社会統合』吉川弘文館

村瀬 陸2018a「大和北部地域を主眼とする後期円筒埴輪の系統」『埴輪論叢』第8号

村瀬 陸2018b「粘土付加からみた石見型埴輪の地域性」『埴輪論叢』第8号

村瀬 陸2019「菅原東遺跡出土石見型埴輪の検討」『奈良市埋蔵文化財調査年報 平成28（2016）年度』奈良市埋蔵文化財調査センター

山内英樹2001「愛媛県出土埴輪の基礎的研究（2）」『紀要愛媛』第2号（財）愛媛県埋蔵文化財センター研究紀要

山内英樹2003a「埴輪研究の現状と課題－「基底部調整」をめぐる諸問題について－」『宮山古墳群の研究』鳥根県古代文化センター調査研究報告書16

山内英樹2003b「円筒埴輪製作工程における「基底部調整」」第52回埋蔵文化財研究会発表要旨集

山内英樹2008「伊予の埴輪編年」『紀要愛媛』第8号（財）愛媛県埋蔵文化財センター研究紀要

山内英樹2018「円筒埴輪「基底部調整」再考」『埴輪論叢』第8号

横山浩一1978「刷毛目調整工具に関する基礎的実験」『九州文化史研究所紀要』第22号

和田一之輔2005「摂津猪名川流域における古墳時代後期の埴輪供給関係」『待兼山考古学論集－都出比呂志先生退任記念－』大阪大学考古学研究室

和田一之輔2006「石見型埴輪の分布と樹立古墳の様相」『考古学研究』第53巻第3号

和田一之輔2012「靱形埴輪の編年と系統」『文化財論叢』IV 奈良文化財研究所創立60周年記念論集

和田一之輔2017「近畿地方における靱形埴輪2類の展開と背景」『古代文化』第68巻第4号